

令和6年2月13日
16:30～
Zoom

庁議事項

- ① 令和6年2月定例会付議予定議案 **【企画財政部】**
- ② 令和6年4月1日付け組織・定数改正について **【企画財政部】**

令和6年2月定例会付議予定議案

招 集 日

令和6年2月20日(火)

議 案

54件

〔 予算(22)、条例(23)、事件議決(7)、基本的な計画の策定等(2) 〕

- 【主な内容】・ 令和6年度埼玉県一般会計予算
・ 令和5年度埼玉県一般会計補正予算(国の経済対策に伴う補正)

報 告

6件

〔 専決処分報告 〕

令和6年度当初予算案

歴史的課題への挑戦と未来への確かな布石

①歴史的課題への挑戦

②「日本一暮らしやすい埼玉」の
実現に向けた取組の深化

一般会計 2兆 1,197 億 4,400 万円 前年度比 ▲4.1%

(全会計合計 3兆 5,545 億 2,912 万 4 千円) 前年度比 ▲2.8%

同時提案

13か月予算による防災・減災、国土強靱化等の推進(令和5年度2月補正)

一般会計 319 億 5,822 万円

①歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応）

更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

一部新規 拡充 DXによる県民サービスの向上 2億6,360万8千円

◆ 全庁GIS(地理情報システム)搭載マップの拡大

- ・GIS基盤に搭載するマップを拡充
R5 14マップ ▶ R6 **68**マップ
- ・ユーザビリティに配慮したポータルサイトの
使いやすさを向上



◆ 全庁共通メタバース空間の整備

- ・県庁の様々な部門が利用できる常設のメタバース空間を整備し、
相談、マッチング、居場所、イベントなど幅広いサービスを提供

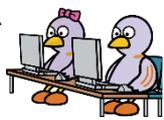
◆ 公金収納の更なるキャッシュレス化の推進

- ・窓口キャッシュレス決済が未導入の県直営施設や
保健所等に、新たにキャッシュレス環境を整備



◆ 電子出願システムの本格導入

- ・県立中学校及び県立高校の出願手続のオンライン化、
入学選考手数料のキャッシュレス化
R5 モデル12校 ▶ **入学者選抜を実施する全校**



一部新規 拡充 県内中小企業のDX推進 6,622万9千円

・「埼玉県DX推進支援ネットワーク」の機能強化

- ▶ 事業者のデジタル化のステージに応じた
きめ細かい支援



AI・IoT等の活用で
業務・組織の変革を目指す

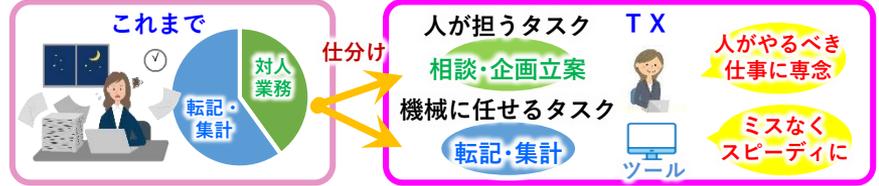
デジタル技術の活用で
生産性向上に取り組む

デジタルツールを導入し
業務効率化を図る

一部新規 拡充 タスク・トランスフォーメーション (TX) による 行政の生産性向上 1億4,082万9千円

◆ TXの推進

- ・デジタルで効率化するタスクと人が担う業務を仕分け、県民サービス
と生産性の向上を実現するタスク・トランスフォーメーションを推進

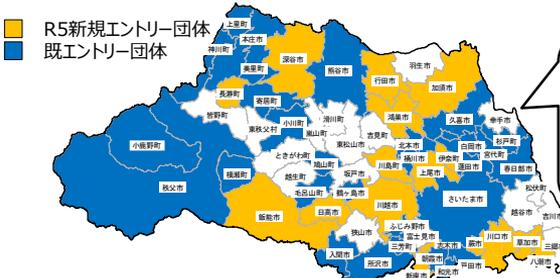


◆ 生成AI、ノーコードツールの活用拡大

- ・TXで重要なツールである生成AI、ノーコードツールを全ての職員
が活用し、様々な業務の効率化を実現

持続可能なまちづくりと経済成長の実現 ①

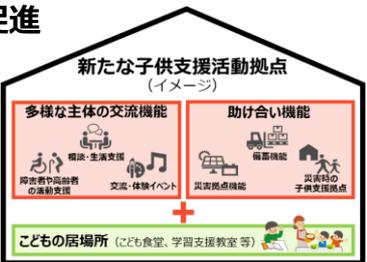
一部新規拡充 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進



12億 185万9千円

◆ プロジェクトを加速させる新たな市町村支援

- ・持続可能な地域公共交通ネットワーク構築の取組への支援強化
- ・認知症高齢者グループホーム等の整備促進
- ・こどもの居場所に機能を追加した新たな子供支援活動拠点の整備促進
- ・商店街の空き店舗活用促進
- ・空き家バンクを通じた空き家利活用促進



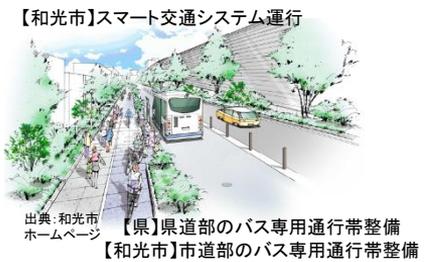
◆ 市町村・企業等の交流機会拡大とマッチング強化

- ・官民連携を促進する交流会の拡充
- ・企業提案を募るガバメントピッチの拡充
 - プロジェクトに取り組む市町村の増加に対応し、企業等の参加しやすさにも配慮



◆ 市町村事業と連動して実施する県事業

- ・賑わいのあるまちづくりやスマート交通システムを支援する県道整備
- ・水辺deベンチャーチャレンジによる水辺整備の推進
- ・河川の調節池を利用した再生可能エネルギー活用支援
- ・県有施設への再生可能エネルギー導入の推進



◆ プロジェクトに取り組む市町村への補助

①事業化検討補助	②事業推進補助
補助率 1/2、補助上限 500万円 まちづくりの事業化に向けた検討費用	補助率1/2、補助上限 5,000万円 まちづくりに関するソフト・ハード事業

①歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応）

持続可能なまちづくりと経済成長の実現 ②

一部新規 オープンイノベーションの創出

10億3,657万円

◆「渋沢栄一起業家サロン(仮称)」の開設準備

・令和7年度開設予定

➢さいたま新都心駅に直結する
建設中の民間複合ビルに設置

・オープンイノベーションや
スタートアップ創出支援の
セミナー・プログラムなどを先行実施



◆「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」の整備

・令和8年度開所予定

・拠点施設・実証フィールドの整備

・「埼玉県ロボティクスネットワーク」の
活動を通じて県内中小企業等の
ロボット産業参入を促進

・農場におけるロボット実証など
アグリテック・フードテックを促進



一部新規 サーキュラーエコノミーの推進

4億1,011万4千円

◆リーディングモデルの構築

・リーディングモデルの構築に向けた補助金の新設

➢サーキュラーデザイン(循環配慮設計)に
基づく製品等の試作開発
(補助率)2/3 (補助上限)2,000万円

➢「食のサーキュラーエコノミー」に資する設備やシステムの導入等
(補助率)2/3等(補助上限)2,000万円

➢廃棄物処理業者による高度な再資源化設備の導入
(補助率)2/3等(補助上限)2,000万円

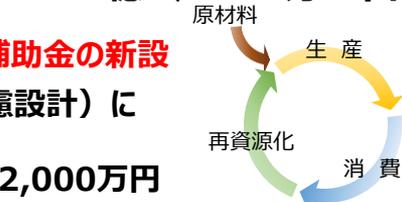
・サーキュラーエコノミーに特化したスタートアップ企業ビジネスプラン
コンテストの開催

・「サーキュラーエコノミー推進センター埼玉」における支援の強化

・埼玉県SDGs官民連携プラットフォームを活用した企業等の交流や
事業連携等の推進

◆埋立跡地を活用した 資源循環モデルの整備

・環境整備センター埋立跡地において、
サーキュラーエコノミーの実践や地域
振興を図る資源循環農場・公園の設計等



(資源循環農場イメージ)



①歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応）

あんしん しあわせ たのしい こども支援の充実 ①

新規 「こどもまんなか社会」実現への取組 **1,352万7千円**

・子供等から県の子供施策に対する意見を聴取する仕組みを構築

- こども県政サポーター（仮称）制度を創設
- 意見聴取のシステムを構築



拡充 子育て家庭への経済的支援 **37億6,910万4千円**

◆ **こども医療費助成制度の拡充**

- ・補助対象年齢の拡大、所得制限の撤廃
- 県の補助対象拡大により、各市町村の様々な子育て支援を後押し

区分	補助対象	
	(現在)	(拡充後)
通院・入院	就学前	小3・中3まで
所得制限	あり	なし

一部新規拡充 **保育人材の確保** **1億 903万4千円**

◆ **潜在保育士の就職支援**

- ・潜在保育士に向けたデジタル広告や一斉通知の実施
- ・ワンストップで情報収集可能なポータルサイトの構築
- ・段階的に復職するための雇上げに係る経費の補助



新規 **家族形成に向けた気運の醸成** **1,438万円**

- ・プロスポーツチーム等と連携した婚活イベントの開催
- ・SNS等を活用した結婚などに関する様々な情報発信



新規 **困難を抱える妊産婦への支援** **3,317万3千円**

- ・安心して生活できる場のない妊婦を産科医療機関等で緊急一時的に受入
- ・母子生活支援施設で一時的な居所や出産後の生活相談等、安心して出産・生活できる場を提供
 - 関係機関で連携して切れ目なく支援を実施
 - 妊産婦の孤立化・0歳児虐待を防止



新規 **育児と仕事が両立できる社会の実現** **1,857万5千円**

◆ **男性の家事・育児参加の促進**

- ・男性の育休取得に積極的に取り組む企業の表彰・イベントの開催等
- ・企業の経営者・管理職向けセミナーの実施
- ・家事・育児のヒント集「子育てハンドブック（仮称）」の作成



① 歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応）

あんしん しあわせ たのしい こども支援の充実 ②

新規 こどもの居場所の確保・充実 6,853万8千円

新規 児童虐待防止・社会的養育の充実

2億9,013万2千円

～ 虐待に対する切れ目のない支援 ～

発生予防	早期発見・対応	児童・家庭支援	里親等・施設入所	施設退所・自立
<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発活動 妊産婦等支援 	<ul style="list-style-type: none"> 窓口整備・普及 児相体制強化 関係機関連携 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の心のケア 家族再統合支援 児童の意見表明等支援 	<ul style="list-style-type: none"> 里親等支援 施設運営体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅・就労支援 資金貸付 アフターケア

◆ バーチャルユースセンター(仮称)の設置

・**メタバース空間**にこども・若者の居場所を設置

- 交流・体験、相談の場として構築・活用
- リアルの交流・体験、専門支援との連携



◆ 放課後児童クラブの待機児童対策の推進

- ・既存施設等を活用した児童の受け皿確保を行う市町村への補助
- ・児童・保護者向け調査を実施し、待機児童対策に係る施策の検討に活用



◆ こどもの居場所を支える体制づくり

- ・地域ネットワークの立ち上げ促進
- ・地域のこどもの居場所支援団体の育成
- 市町村がこどもの居場所支援団体と協働して地域課題の解決を目指すモデル事業への補助



◆ 児童虐待の未然防止

- ・課題を抱える子供や家庭への包括的支援を行う市町村への補助

◆ 一時保護所の環境整備

- ・中央児童相談所一時保護所の建替えに向けた設計等を実施
- **令和9年度**開所予定
- ・保護児童の意見の表明等を支援



◆ 児童養護施設等の運営体制の強化

- ・乳児院における医療機関との連携強化
- ・補助者の雇上げ経費への補助
- ・児童養護施設等職員に対する家賃補助
- ・新たに設置する里親支援センターによる包括的な支援を実施



① 歴史的課題への挑戦

激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え

一部新規 拡充 災害対応力の底上げ

3,411万円

◆ 埼玉版FEMAの推進

- ・既存シナリオのブラッシュアップと、新たに「林野火災」のシナリオを作成し、図上訓練を実施
- ・指揮命令権者訓練の実施
 - 県全体の危機管理、災害対応力の強化



◆ ドローンを活用した災害現場上空観測の実証実験

- ・災害発生時に、ドローンによる災害現場の上空観測を実施
 - 迅速・的確な災害対応への有効性を検証



◆ ジェンダー視点による避難所開設・運営の充実強化

- ・県標準手引き及び映像資料の作成
- ・手引きに基づく市町村版マニュアルを全市町村で策定



一部新規 拡充 自然災害への備え 123億9,598万7千円

◆ 埼玉版流域治水対策の推進

- ・中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト
 - 中川・綾瀬川流域を「特定都市河川」に指定し、法的枠組みを活用して流域治水をより強力に推進



令和5年6月大雨時
新方川

◆ 道路冠水対策の強化

- ・道路冠水常襲箇所に冠水感知センサー及び警報装置を設置



新規 新たな感染症への備え 7億5,972万3千円

- ・新たな感染症の発生・まん延時に備え、協定締結医療機関が行う施設・設備整備への補助など感染症対応力の向上を支援
- ・検査能力向上など県衛生研究所の機能を増強
- ・新たな感染症を想定した訓練を実施し、地域の連携体制を構築



新たな感染症を想定した
訓練の様子

新たな感染症への対応力を強化

②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化

県民の暮らしの安心確保/介護・医療体制の充実

新規 犯罪捜査力の強化

4,702万2千円

◆ 情報通信機器の証拠収集と解析力を強化するための環境整備

- ・従来、証拠収集やデータ解析に要していた作業を効率化
- 聞き込みや防犯カメラの精査等の代替捜査に費やしていた時間と労力を削減



拡充 働き方の柔軟化による警察力の向上

2億1,771万4千円

◆ テレワークによる働き方改革の推進

- ・職員が能力を最大限発揮できる柔軟な勤務環境の拡充
- 育児等の事情を抱える職員がフルタイムで働くことができるなど仕事と家庭の両立を推進



新規 生活の安心支援

350万円

◆ ビジネスケアラーの仕事と介護の両立支援

- ・地域包括支援センターへの早期相談などを促す動画の作成・周知



一部新規拡充 人材の確保・定着対策の推進

8億3,121万5千円

◆ 医学生への奨学金貸与枠の拡充

- ・県内の医師不足地域等に勤務することを条件とする奨学金の新規貸与枠（地域枠）を拡大 7大学 45名 ▶ 8大学 47名

◆ ICT導入による看護業務効率化の支援

- ・県内病院にアドバイザーを派遣
- ・モデル施設の好事例を横展開



一部新規拡充 地域医療体制の充実

3億3,123万3千円

◆ 救急電話相談・救急搬送体制の強化

- ・救急電話相談#7119の体制強化
- ・救急医療情報システムに画像等の送信機能を追加



◆ がん患者のQOL向上

- ・ウィッグ等のアピアランスケア用品購入費用を助成する市町村を支援
- ・AYA世代終末期患者の在宅療養費用を助成する市町村を支援



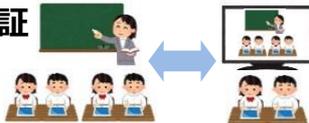
②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化

未来を創る子供たちの育成/人生100年を見据えたシニア活躍の推進

新規 多様なニーズに対応した教育の推進 2,465万9千円

◆ ICTを活用した遠隔教育の展開に向けた実証

- ・教員確保が困難な教科等の遠隔授業の実証
- ・大学による高校生向け遠隔授業の実証



◆ 農業高校生の収益力のある農業の学びの推進

- ・ICTやデータ等を活用したスマート農業などを学ぶ環境の整備、カリキュラムの開発・実践



一部新規 教育環境の充実 8億2,753万3千円

◆ 普通教室の空調設備の公費負担

- ・保護者負担で設置された空調設備
 - 維持管理費等の補助により実質公費化
 - 老朽化した空調設備を公費により順次更新



◆ 外部人材の活用

- ・教員業務支援員の配置校拡充 435校 ▶ **725校**
- ・副校長・教頭マネジメント支援員を**新たに配置 31校**



拡充 生涯を通じた健康の確保 2億7,659万3千円

◆ 自殺対策の強化

- ・全国共通「こころの健康相談統一ダイヤル」の拡充
 - 県の相談体制（年中無休24時間）
 - ▶ 相談件数の多い時間帯の**回線数を増強**
- ・SNS相談「こころのサポート@埼玉」の拡充
 - LINE相談 週2日 ▶ **毎日実施**



厚生労働省「こころの健康相談統一ダイヤル」
みこころ けいせいの こころ
0570-064-556 平日・休日ともに24時間対応
（24時間緊急相談は070-1234-2200）
SNS相談「こころのサポート@埼玉」
LINE ID: @kokosai 東京都福祉こころ部

新規 シニアの活躍支援 4,586万5千円

◆ 岩槻高齢者講習センターにおけるシニアを対象とした総合支援

- ・運動機能の測定や講座放映等の社会参加・健康づくり事業の実施
- ・体験型機器を活用した交通安全教育の実施
- ・口腔機能ケアの重要性について普及啓発



令和6年5月開所予定
(岩槻高齢者講習センター)



(自転車シミュレーター)



(運動機能測定機器)



②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化

誰もが活躍し共に生きる社会の実現

一部新規 女性活躍の推進

7,737万2千円

◆ 困難な問題を抱える女性への支援の強化

- ・メタバース相談の開設やウェブチャット相談の拡充など相談支援の充実
- ・自立支援のための講座の実施など女性自立支援施設の機能充実
- ・女性を支援する民間団体への支援・連携強化



◆ ジェンダー主流化の推進

- ・全庁での事業点検、点検結果の取組への反映
- ・市町村、企業向けトップセミナー等の実施

一部新規 性の多様性を尊重した社会づくりの推進

3,253万6千円

- ・県民向け動画の作成や県内大学のネットワーク立ち上げ
- ・職場での事例をまとめた県独自のガイドブックの作成
- ・企業、大学、市町村などで実践的取組を促すセミナーの実施

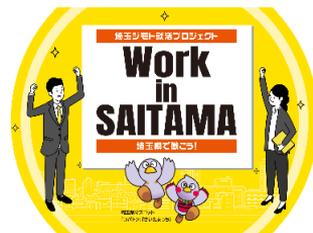


一部新規 就業支援と雇用環境の充実

3,529万1千円

◆ 大学生等を対象とした地元就職の促進

- ・県内企業で働くことの魅力を大学生等に伝え、マッチングを支援
 - メタバースや対面での企業説明会の開催
 - 企業ガイドWEBサイトの運営



◆ メタバースを活用した若者自立支援

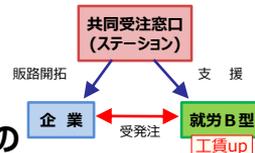
- ・若者自立支援センター埼玉の相談業務や交流会をメタバースでも実施し、働くことに悩みを抱える若者を支援



新規 障害者の自立・生活支援

2,103万9千円

- ・障害者就労施設と企業の連携強化
 - 複数事業所による共同受注や販路拡大に向けたマッチング支援
 - 民需に対応できる商品開発やデザイン力等のスキル向上支援のため、専門家派遣・研修会の開催



②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化

支え合い魅力あふれる地域社会の構築

一部新規 地域の魅力創造発信と観光振興

6億 785万2千円

◆ 魅力あるコンテンツを核としたインバウンド誘致

- ・魅力あるコンテンツを選定し、集中的にプロモーションを実施
- ・旅マエ・旅ナカ・旅アトの各段階に応じた情報発信



◆ ビッグデータ等を活用した観光関連事業者等の支援

- ・埼玉県版観光DMP(Data Management Platform)の構築
- ・新たな観光誘客の取組へのチャレンジに対する支援

◆ 本県の魅力を活用した観光誘客

- ・テーマ別特設サイトの制作、ターゲティング広告の実施
- ・渋沢栄一翁やアニメなどを活用した観光振興
- ・都内、県内における埼玉県産いちごフェアの開催



◆ 誰もが安心・安全に利用できる公園の整備

- ・障害の有無等に関わらず遊べる遊具のあるインクルーシブな広場の整備
- ・誰もが安心して利用できるトイレの設置



遊具広場イメージ (写真は、都立舎人公園)

一部新規 スポーツの振興

4億7,468万8千円

◆ 屋内50m水泳場の整備(川口市)

- ・整備・運営・維持管理業務を一体で行うPFI事業
➢ 設計の実施 (令和9年度開設予定)



(屋内50m水泳場イメージ)

◆ スポーツ科学拠点施設の整備(上尾市)

- ・Park-PFI事業者の公募・選定
➢ 限度額 149億円8,797万円<債務負担行為>
➢ 期間 令和7~38年度 (令和9年度開設予定)

◆ eスポーツの普及・裾野拡大

- ・3か所の会場を接続するイベント等の開催
➢ 賑わい創出、共生社会の実現、社会課題の解決等



ベイスイメージズ/123RF.COM

(イベントイメージ)

新規 未来の県庁・新しい働き方の実現

1億 929万8千円

- ・「未来の県庁の先行モデル」となる北部地域振興交流拠点の基本構想の策定
- ・職員のワークエンゲージメントを向上させるABW型オフィスを整備



②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化

豊かな自然と共生する社会の実現

一部新規
拡充

カーボンニュートラルの推進

7億7,142万2千円

◆ CO₂削減に取り組む中小企業等への支援

- ・中小企業等のスマートなエネルギー利用を促す補助

〈補助対象〉

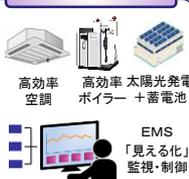
- ① 高効率設備への更新、再エネ・蓄電池の導入
- ② ①とエネルギー管理システム(EMS)の同時導入

〈補助率〉 ① 1/3 ② 1/2

〈補助上限〉 ① 500万円 ② 1,000万円

- ・埼玉県SDGs官民連携プラットフォームを活用した企業等の交流や連携等の推進

スマートなエネルギー利用



◆ 電動車(EV/PHV)の導入支援

- ・県民及び事業者のEV/PHV等の導入に対する補助

〈補助対象〉 ① EV、② 軽EV/PHV、③ V2H、④ 外部給電器

〈補助上限〉

- ① 40万円*1又は25万円、② 27.5万円*1又は15万円
- ③ 15万円*2、④ 25万円

- *1 太陽光発電設備及びV2Hを導入又は保有の場合
- *2 EV/PHV及び太陽光発電設備を導入又は保有の場合

- ・公用車へのEV/PHV導入環境整備



一部新規

下水道資源の有効活用 1億6,687万1千円

◆ 下水汚泥の肥料化の推進

(堆肥の本格製造のイメージ)



- ・下水汚泥の堆肥化の検討

- 県北部の3流域の下水汚泥の堆肥化について事業検討
- 堆肥を試作し安全性や効果をPRし販路を開拓

- ・下水汚泥焼却灰の肥料利用の検討

- 高濃度のりん酸を含む下水汚泥焼却灰について肥料利用を検討

一部新規

全国植樹祭の開催準備 6億6,257万2千円

◆ 式典及び関連行事等の開催準備

- ・第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会の開催、運営
- ・式典会場及び植樹会場等の整備
- ・イベントの開催及び広報の実施等による機運醸成



◆ 秩父ミュージアムパークの整備

- ・音楽堂、長尾根スカイラインの改修等

全国植樹祭 75回 2023

②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化

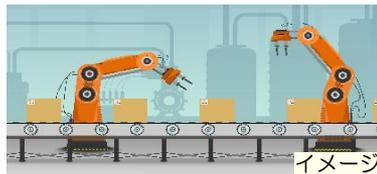
稼げる力の向上

一部新規 中小企業等の人手不足への支援

3億4,956万3千円

◆ 省力化に向けた取組への支援

- ・人手不足の課題の解決に資する機器等の導入に対する補助
- ・補助メニュー等策定のため検討委員会を設置



◆ 企業人材サポートデスク熊谷の設置

- ・さいたま市、川越市に続き熊谷市に企業人材サポートデスクを開設
 - 専門の相談員が県北企業からの人材確保の相談に対応
 - 多様な企業面接会を開催、県北地域のマッチング機会を創出



◆ 外国人材の確保支援

- ・ポータルサイトを開設し、外国人材向けに多言語で企業情報や埼玉県の魅力を発信



新規 世界を彩る「埼玉ビジネス」海外展開プロジェクト

1億3,043万3千円

- ・「マーケットイン」視点の海外向け商品改良の支援
 - 商品改良や海外展示会出展への補助
 - 〈補助率〉1/2 〈補助上限〉100万円
- ・「海外マーケティング推進コンソーシアム」の運営
 - 輸出を検討する企業と商社、物流企業、支援機関等をつなぐ



一部新規 拡充 資金繰りへの支援

40億3,934万4千円

- ・中小企業制度融資の総融資枠 3,600億円
- 引き続きゼロゼロ融資の借換需要などに対応するため、融資枠を確保



新規 美里甘粕地区産業団地の整備

4億7,167万4千円

- ・事業期間 令和6年度～令和9年度
- ・総事業費 約18億円
- ・施行面積 約7.5ha



儲かる農林業の推進

新規 アグリテックによる栽培・生産技術の向上

9,276万円

一部新規 農業の担い手育成

1億4,601万円

◆ 施設園芸におけるデジタルイゼーションの推進

・データ活用体制の構築

- 生産者や企業等で構成する協議会を設置
- IoTを活用した栽培データ等を収集・分析・共有・活用できるシステムの設計



◆ 県産いちごの生産体制の強化

- ・新技術を活用したセル苗の実証
- ・実とり苗の生産に必要な施設整備支援
- ・高温対策のための遮光資材整備支援



セル苗

現地実証

◆ ワカサギ陸上養殖技術の開発

- ・水産研究所に陸上養殖施設を整備しワカサギの育成・採卵技術を開発



ワカサギの陸上養殖施設

◆ 新規就農の促進

・明日の農業担い手育成成熟の運営拡大

- 農業法人研修コースを創設（主穀・施設園芸・果樹）
農業法人の技術指導を受けながら、研修農場（遊休施設等）を使用し、独立就農に向け研修

・農業法人等による就農支援の環境整備

- 研修用農場の環境整備支援（機械導入・施設改修）
- 第三者経営継承の支援（お試し研修などマッチング・継承計画作成等）
- 女性が働きやすい環境整備の支援（トイレ、更衣室、機械等）



コンバイン
（研修用農場の環境整備）



お試し研修
（第三者経営継承の支援）



女性用トイレ
（女性が働きやすい環境整備）

令和5年度一般会計補正予算（国の経済対策に伴う補正）

<令和5年度埼玉県一般会計補正予算(第6号)> 319億5,822万円

継続 防災・減災、国土強靱化の推進

◆ 国補正予算を活用した13か月予算(公共事業)
1,317億1,124万4千円

令和5年度 13か月予算 1,222億円 ▶ **1,317億円**

昨年度以上の事業費を確保 **+95億円 7.8%増**

- 道路・街路事業 755億円
- 河川事業 451億円
- 農業基盤整備・治山事業 90億円
- 公園・区画整理事業 21億円

切れ目のない公共事業の実施により県民の安全・安心を実現



老朽橋の架換えの前倒し



調節池整備の前倒し



農業水利施設の耐震補強の前倒し

◆ 県立学校施設の大規模改修 9億8,646万2千円

- ・令和6年度以降の工事計画の前倒し
特別支援学校の空調設備改修工事 4校



老朽化した空調を更新することで熱中症等の危険が低減
児童生徒の安全で快適な学習環境の確保

令和6年4月1日付け組織・定数改正



知事部局

組織 99課123所 → 100課122所(+1課▲1所)

- ・ こども政策の更なる推進のため、少子化対策局長を「こども政策局長」に改称するとともに、少子政策課を「こども政策課」と「こども支援課」に再編
- ・ 婦人相談センターを男女共同参画推進センターに統合し、困難な問題を抱える女性への支援体制を強化

定数 7,138人 → 7,159人(+21人)

- ・ 児童虐待防止対策の強化のため、各児童相談所に増員(+29人)
- ・ 全国植樹祭・全国健康福祉祭(ねんりんピック)の開催準備(+21人)
- ・ こども政策(+4人)やDXの更なる推進(+11人)等の重点施策分野に増員
- ・ 新型コロナウイルス感染症対応の体制の見直し(▲67人)

企業局

定数 427人 → 439人(+12人)

- ・ 高度浄水処理施設整備等を推進するための体制強化

下水道局

定数 107人 → 111人(+4人)

- ・ 下水道施設の老朽化対策を推進するための体制強化